

# 「カメムシ防除作戦」ホームページの開設について

令和7（2025）年3月27日  
農政部生産振興課

「カメムシ防除作戦」の取組を農業者等に効果的に発信するため、防除対策や発生予測等の情報をまとめたホームページを開設する。

## 〔目的〕

農業者等がカメムシ防除の適切な対策を講じられるよう、防除対策や発生予測等の迅速な情報発信を行う。

## 〔掲載内容〕

- 趣旨
- カメムシの生態・防除対策の基本情報
  - カメムシについて
    - 稲、大豆、果樹などに被害を及ぼすカメムシの特徴や画像を掲載
  - 基本的な防除対策
    - 稲、大豆、果樹などの品目ごとの防除対策を掲載
  - カメムシの被害に備える（農業保険）
    - カメムシ被害を受けた場合の農業保険等の紹介
- 発生予測情報、防除対策情報（随時更新）
  - 農業総合研究センターの発生状況調査データ
  - 国や県の調査・研究データ

## 〔公開日〕

令和7（2025）年3月27日から

## 〔参考 HP の掲載例〕

（カメムシの特徴ページ）

### イネカメムシ



形態: 成虫は淡黄褐色で、体長は12～13mm

寄主: 主に水稻

加害: 水稻の出穂期に越冬場所等から水田へ侵入。幼虫・成虫が籾を吸汁し、不稔や斑点米が発生

（防除対策ページ）

### （化学的防除）

耕種の管理でカメムシ類を十分に抑圧できなかった場合や、加害主体がより大型種である場合には、本田での農業散布が必要になります。侵入ピークの穂揃い期とその7～10日後、さらに発生程度により追加防除が必要です。

イネカメムシは、出穂期に加害されると不稔が発生し、収量が著しく低下する場合があります。これを防ぐには、従来の防除時期よりも早い出穂期の防除が必要となります。さらに、基部斑点米を防ぐためには、出穂後1週間（乳熟初期）に有効な殺虫剤を散布します。